



原爆ドームの叫び 大賞 文化庁芸術祭賞で 文仏ドキュメンタリー

文化庁は四日、デジタル技術を使った映像作品などを表彰する二〇〇七年度メディア芸術祭賞を発表した。アート部門の大賞には、原爆ドームの歴史を描いたフランスのドキュメンタリー映像「n i j man no bore i (二十万の亡霊)」(ジャン・ガブリエル・ペリオ監督)が選ばれた。

核廃絶の願いを込め、一九一五年に広島県物産陳列館として建設されてから被爆、復興までの過程を十一分間、約千枚の写真で次々に映し出した作品。審査委員会は「静かだが、深い感銘を与える」と評価した。

エンターテインメント部門で任天堂(京都市)のゲームソフト「Wii Sports」(アニメーション部門で「河童のクウと夏休み」(原恵一監督)、マンガ部門で「モリのアサガオ」(郷田マモラ作)がそれぞれ大賞に選ばれた。